

大阪信愛学院 中長期計画

学校法人大阪信愛女学院

2025年11月27日

- 1) 赤字経営体質から早急に脱却し、資金力を高めていかねば将来の発展はない。
- 2) 年々加速する少子化の中で、社会から求められる学校でなければ、世の中から消えていく。
- 3) 社会の変化に適応して、自らが変化しなければ生き残ることはできない。
- 4) 学校経営における時間軸は緩やかで、経営悪化は緩やかに進行し、改善するには多くの時間をする。
- 5) 多様性とグローバル化は世界の常識であり、その価値観は無視できない。
- 6) 本学の独自性を確立し、社会に響く発信を連打していかねば、認知度は上がらず、募集力も衰退する。
- 7) 学校の社会的評価は、卒業生が社会で活躍しているかどうか、による。そのための教育であり、進路指導・支援が重要である。

第一次5カ年計画（2026年度～2030年度）

- 1) 入学定員（募集定員）確保
- 2) 内部進学生の確保
- 3) 離学者（退学者）の低減
- 4) 魅力ある教育内容の構築
- 5) ブランディング強化と黒字経営体質の実現



第二次5カ年計画（2031年度～2035年度）

- 1) 入学定員（募集定員）の安定的確保
- 2) 幼小中高大連携の充実、一貫教育の確立
- 3) 離学者（退学者）ゼロ
- 4) 魅力ある教育内容の実践
- 5) 新・信愛ブランドの定着

ミッション・ビジョン・バリューの明文化

ミッション
(使命)

一人ひとりの可能性を伸ばし、思いやりの心をもって社会に貢献する人を育てます

ビジョン
(目標)

多様な価値観を受け入れ、互いに認め合い、一人ひとりの尊厳を大切にする学院

信愛生と共に輝き、新しいことにチャレンジする教職員

自分で課題を見つけ、考え、主体的に行動する信愛生

バリュー
(行動指針)

一人ひとりの能力を伸ばす教育と環境を提供し続けます

グローバルな視野を持ち、人と人、人と自然との調和を大切にする人材を育成し続けます

かけがえのない個性を大切にし、共に進化し続けます

重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
収容定員の確保	収容定員充足率100%超 収容定員数520名 (教育学部200名・看護学部320名)	収容定員充足率72% (教育学部45%、看護学部99%) 5月1日現在在籍者数：462名 (教育学部144名、看護学部318名) 収容定員数640名： (教育学部320名、看護学部320名)
内部進学生の増加	入学定員の20% (26名) (2030年度 大学定員130名)	入学定員の6.25% (10名：教育3名・看護7名) (2025年度 大学定員160名)
離学者の低減	離学率 4%以下	離学率 2024年度 (4月1日～3月31日) 6.2%
進路決定率	進路決定率100%	_____
国家試験合格率	看護師国家試験合格率100%	_____

重点項目

※重点方針を達成するための施策

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
<p>募集広報</p> <p>①入学定員の確保、志願者数の増加 ・入学時奨学金の充実、強化</p> <p>②資料請求者の増加</p> <p>③オープンキャンパスの参加者の増加 ・本学接触者の出願率増加</p> <p>④高等学校との連携強化</p>	<p>①入学定員充足率108% 教育学部志願者倍率2.0倍 看護学部志願者倍率4.0倍</p> <p>②資料請求者数7000(高3生)</p> <p>③オープンキャンパス出願率50%</p> <p>④高校訪問 重点校複数訪問100校 高校内ガイダンス120件</p>	<p>2025年度入学生</p> <p>①入学定員充足率86%</p> <p>②資料請求者6706名</p> <p>③オープンキャンパス出願率40% オープンキャンパス参加者606名 出願者232名 入学者数137名</p>
<p>教育研究</p> <p>・教学マネジメント ①教育学部改革 ・外部機関との連携 ②教育課程改善 ・学生満足度90%以上、成長度を高める 総合的な学生支援 ・入学前教育とゼミ等の初年次教育の運動</p>	<p>・私立大学等改革総合支援事業の指標 30項目すべてに取組む</p> <p>・プログテスト入学時より上昇</p>	<p>・2026年度 改定カリキュラムの届出・準備 ・教育学部2コース</p>
<p>社会貢献</p> <p>・しんあい教育研究ケアセンター事業 ・学会活動</p>	<p>・地域住民や学校園関係者を対象、または 連携の各種研究・事業(約20)の実施</p> <p>・学会活動への積極的参加、役員等として の参画</p>	<p>・地域住民や学校園関係者を対象、または 連携の各種研究・事業(約20)の実施</p> <p>・学会活動への積極的参加、役員等として の参画</p>
<p>安定的な補助金確保</p> <p>経常費補助(収容定員確保) 科研費補助増</p>	<p>・経常費補助率 100%</p> <p>・科研費申請率 100% 採択率20%</p>	<p>2025年度経常費補助金確定額78,766,000円 (看護学部のみ支給・修学支援金を除く)</p> <p>2025年度科研費申請率33%</p> <p>2024年度科研費申請率52% 採択率25%</p>

重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
募集定員の確保	240名	246名
大学への内部進学生の増加	大学入学定員の20%(26名) (2030年度 大学定員130名)	大学定員の6.25% (10名: 教育3名・看護7名) (2025年度 大学定員160名)
中学校からの内部進学生の増加	内部進学率95%	内部進学率72% (内部進学者21名/中3在籍29名)
離学者の低減	離学率3.0%	離学率5.0% (2024年度)
魅力ある教育内容の構築	<ul style="list-style-type: none"> 特進コースの国公立大学合格率50% 上智大学、南山大学のカトリック校推薦合格 	<ul style="list-style-type: none"> 特進コースの国公立大学合格率20% (8名/40名) 南山大学と包括連携教育協定を締結

重点項目

※重点方針を達成するための施策

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
教育内容 ・学力及び心身共に優良な生徒の育成 ・カリキュラム改革(探究と土曜学習) ・補習の充実(夏期・冬期・放課後) ・内部進学生の先取り授業導入	・他校と差別化された学習プログラムの確立 ・新たな人間教育の樹立(カトリックの視点からボランティア及び環境問題等に対する意識の涵養) ・探究活動(社会貢献含)による総合型選抜合格者の輩出 ・土曜日の学びの再構築 ・内部進学生の先取り授業の実施	・学習メンター制度、校内予備校等実施 ・ボランティア活動は散在的に実施 ・探究3科目実施 ・土曜は3限通常授業(第二土曜休日)
募集広報 ・メディア広報及びデータ分析による新しい広報戦略	・受験生・保護者目線でのHP及びSNSの配信及び拡散(プレスリリースを含む) ・データに基づいた広報活動の実践 例)入試関連行事 中学・塾訪問	・教員目線でのHP及びSNSの配信 ・生徒の個人データ、イベント参加状況などのデータを広報活動に活かしていない
社会貢献 ・ボランティアを進路指導と並ぶ柱に位置付け、ボランティア活動の組織化	・高3をリーダーとした縦割りボランティアチーム(福祉、環境、教育、地域、防災、国際交流等)を確立して活動	・個々の学年、クラブ等によるボランティア活動(ユニクロ服のチカラプロジェクト 部活による演奏会 運動部による地域清掃活動等)
グローバル ・短期・中期の受け入れ留学生の増員 ・新たな交換留学プログラムの樹立 ・国際理解や多文化学習の導入	・留学生: 恒常に在籍者の5%(短期含む) ・長期・中期留学生受け入れの施設確保 ・多文化学習として、食堂での多国籍メニューを提供	・ラザホール・アングリカン・グラマースクールと姉妹校提携して交換留学実施(短期のみ20名の交換留学) ・フィリピンのセントラサール語学研修旅行(希望者)

重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
募集定員の確保	60名	41名
高校への内部進学生の増加	内部進学率 95%	内部進学率 72%
小学校からの内部進学生の増加	内部進学率 35%	内部進学率 35%
離学者の低減	離学率0%	離学率1%(2024年度)
魅力ある教育内容の構築	・ 教育活動における小学校との連携確立	・ 小学校から中学校への内部進学率向上の検討 (新たな奨学金制度はすでに2024年度設置済)

重点項目 ※重点方針を達成するための施策

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
教育内容 ・学力及び心身共に優良な生徒の育成 ・カリキュラム改革(総合学習と土曜学習) ・先取り授業の導入 ・SHIN-AI講座のプログラム改革	・総合学習のカリキュラムを計画する専属の部署の設置し、各学年の成長段階を踏まえたテーマ設定と運用 ・土曜日の学びの再構築 ・スーパー文理コースで先取り授業の実施 ・SHIN-AI講座にプログラミングを導入	・各種体験プログラムは多く実施しているが、一貫性がない ・週2回ハイレベル進学講座実施 ・自主学習セミナー(放課後塾)を実施 ・SHIN-AI講座では、宿題を中心に塾講師による自主学習指導及び英検対策を実施
募集広報 ・メディア広報及びデータ分析による新しい広報戦略	・受験生・保護者目線でのHP及びSNSの配信 ・データに基づいた広報活動の実践 例)入試関連行事 中学・塾訪問 ・大手塾の本校の教育内容の理解と共感	・教員目線でのHP及びSNSの配信 ・生徒の個人データ、イベント参加状況などのデータを広報活動に活かせていない
社会貢献 ・ボランティアを進路指導と並ぶ柱に位置付け、ボランティア活動の組織化	・中3をリーダーとしたボランティアチーム(福祉、環境、教育、地域、防災、国際交流等)を確立し、3年間で社会貢献を経験	・個々の学年、クラブによるボランティア活動(ユニクロ服のチカラプロジェクト部活による演奏会 運動部及び中1の地域清掃活動等)
グローバル ・短期・中期の受け入れ留学生の増員 ・新たな交換留学プログラムの樹立 ・国際理解や多文化学習の導入	・中3向け短期留学制度の確立 ・語学研修に向け、計画的に英語力やコミュニケーション能力、国際理解を身に着けるプログラムの実施	・中学生向けの留学制度なし ・中3)台湾研修 中2)ブリティッシュヒルズ語学研修 中1)Englishキャンプを実施 ・中3台湾語学研修で文化交流、光仁中学が来校し交換交流

重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
募集定員の確保	60名	51名
中学への内部進学生の増加	内部進学率 35%	内部進学率 35%
こども園からの内部進学生の増加	内部進学率 30%(こども園卒業生約100名)	内部進学率 13%(こども園卒業生約100名)
離学者の低減	0名	2名(2024年度)
魅力ある教育内容の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな英語教育の実施 ・新たなICT教育の実施 英語を活用しメタバース上でのプレゼンテーションを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の実態把握 ・AIを利用した授業

第一次5カ年計画

小学校

重点項目

※重点方針を達成するための施策

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
教育内容 ・基礎基本の定着　・ICT教育の連携強化	・基礎基本の定着 ・中高とICT教育のカリキュラム統一	・授業の在り方、宿題の出し方の再検討 ・ICT教育の連携打ち合わせ
小中連携 ・クラブ及び授業体験 ・卒業生交流 ・内部推薦制度の充実　　・教職員交流	・高学年が中高のクラブ及び授業に参加(年15回) ・卒業生の中学校体験講話(年5回) ・推薦生(希望者)全員が内部進学 ・教職員交流会(年3回)	・クラブ及び授業参加の検討 ・卒業生との交流の検討 ・内部推薦制度の見直し ・教職員交流の検討
幼小連携 ・園児との交流 ・授業体験　　・内部進学制度の充実	・園児との交流(年1回) ・1年生の体験授業(学期に1回) ・内部進学制度の確立と運用	・休み時間の交流 ・授業体験の検討 ・内部進学制度の検討
募集広報 ・幼児塾との連携強化 ・オープンスクール等の充実 ・カトリック幼稚園との連携強化	・幼児塾への訪問30校及び説明会5校 ・内容改変したオープンスクール(年4回) ・カトリック幼稚園との提携5園	・幼児塾への訪問20校及び説明会1校 ・説明会(月1回)実施及びオープンスクールの見直し ・カトリック幼稚園での説明会2園
社会貢献 ・新たなボランティア活動の樹立	・中高生と一緒に募金活動及びボランティア活動を実施	・ボランティア活動の検討
グローバル教育 ・海外留学の導入	・海外留学を実施	・海外留学の検討
教員の資質向上 ・校内授業力(ICT活用含)向上研修 ・児童に対する個別対応ができる組織構築	・校内授業力(ICT活用含)向上研修の実施(国算年3回) ・児童に対して組織として個別対応ができる	・授業研修の機会を増加 ・ICT教育充実のための検討開始 ・教室に入れない児童に関する対応検討開始

重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
募集定員の確保	1号児70名	1号児66名
小学校への内部進学生の増加	内部進学率 30%(こども園卒業生約100名)	内部進学率 13%(こども園卒業生約100名)
魅力ある教育内容の構築と強化	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育研修 外部研修へ3名出席 園内研修9回実施 ・宗教研修 園内研修 年1~2回 園外研修 年2回 ・学院最初の学校としての魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修参加者 1名、園内新任研修年3回、園内研修年1~2回 ・学院内施設、教養講座、カウンセリング紹介を実施

重点項目 ※重点方針を達成するための施策

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
本園と分園の統合	・本園と分園を統合して運営	・本園と分園を分けて運営
幼小連携 ・児童との交流 ・小学校での授業体験 ・内部進学制度の充実	・児童との交流会を恒例的に実施 ・小学校を紹介するための教職員交流会の定着	・児童との交流開始 ・小学校との連絡会を実施(月1回)
募集広報 ・新たな募集広報手段の確立	・0~2歳小規模保育園に要項を持参または送付 ・インスタグラムを使った情報発信	・小規模保育園との提携実施 ・SNSを使った情報発信の検討開始
グローバル教育 ・国際的な視点及びユニバーサルデザインを意識した教育の樹立	・世界の国や国旗に興味を持ち、多くの人種やその文化に親しむ教育を実践 ・在園児の肌の色や国籍の違いに違和感なく生活	・英語での挨拶ができ、ネイティブ教員を通してアメリカの文化や人種への理解を深めている
教職員の資質向上 ・園内外の研修の積極的な参加促進	・モンテッソーリ教育外部研修受講者 3名/年 ・モンテッソーリ教育園内研修 全体3回/年 新任9回/年 ・宗教研修 1~2回/年	・モンテッソーリ教育外部研修受講者 1名/年 ・モンテッソーリ教育園内研修 本園)全体0回/年 新任3回/年 分園)全体3回/年 新任9回/年

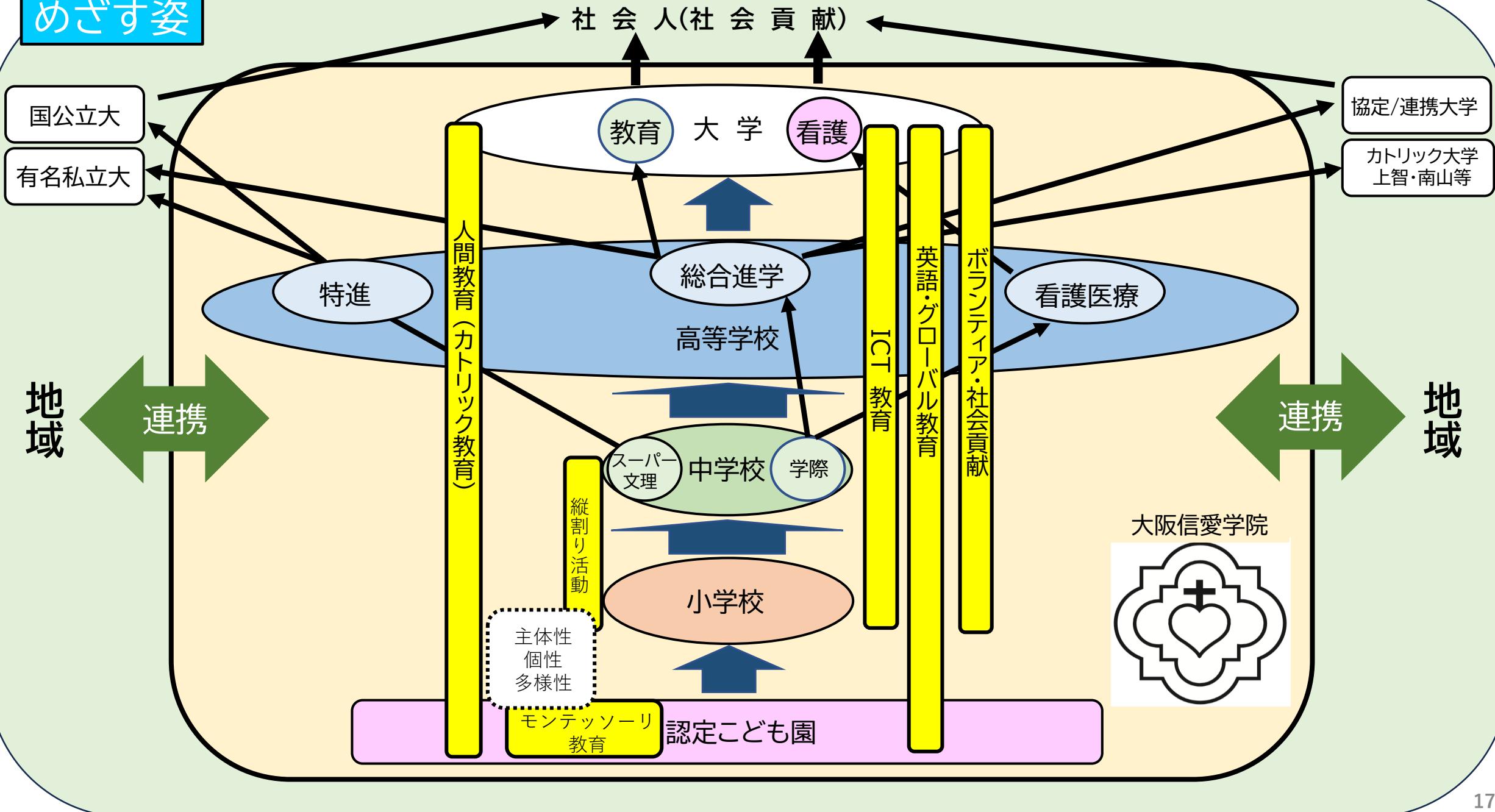
重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
ブランディング強化 ・学院ブランドイメージの再構築と発信 ・Webサイトのリニューアル ・プレスリリース/地域連携強化	・学院イメージの刷新と定着 ・Webサイト閲覧数 1,900,000 ・プレスインプレッション数 140,000	・総合学院としての発信力が弱く、大学や共学化の浸透が不十分 ・プレスリリースを新たに実施(2025年6月～) ・プレスインプレッション数 69,511(～11月)
財務体質の強化 ・安定的な黒字経営の実現 ・資金力の向上 ・経営管理強化 ・購買システムの導入/コスト管理強化	・経常収支差額 5%以上 ・新経理システムの導入と運用 ・購買システムの導入と運用	・経常収支差額▲281,817千円(2024年度) 765千円(2025年度計画) ・経理システム(トーマス/楽楽精算)
施設/インフラ整備 ・キャンパスグランドデザインの策定 ・計画的な施設/設備整備の実施	・中長期視点での施設/設備整備の計画的実施	・対症療法型の更新/修繕
人事待遇制度の見直し ・納得性のある公正な賃金制度/教職員のモチベーション向上を図る人事制度の構築 ・経営状況に連動したメリハリある賞与分配	・魅力ある人事待遇制度の導入と運用 ・「給与=仕事の価値」へのシフト ・目標管理/評価制度と待遇との連動	・年齢/勤続重視の給与制度 ・校種一律の給与テーブル ・わかりにくい給与決定方式と多種多様な諸手当
学校間連携の強化 ・高大連携/小中連携/幼小連携会議の推進 ・学院一帯活動の企画推進	・内部進学者数(幼→小)30% (小→中)35% (中→高)95% (高→大)大学定員の20% ・学院全体イベントの定着	・内部進学者数(幼→小)13% (小→中)35% (中→高)72% (高→大)大学定員の6.25% ・高大連携会議を開催

重点方針

取り組み内容	KPI/2030年度目標	2025年度(現状)
リスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの堅牢性向上 ・情報セキュリティレベルの向上 ・コンプライアンス対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なデータバックアップ体制構築 ・クラウド利用の情報セキュリティ対策導入 ・情報セキュリティ教育の定着 ・コンプライアンス対応の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校ごとの情報管理 ・脆弱なデータバックアップ及びサイバー攻撃対策 ・情報セキュリティ意識/情報管理知識は不十分 ・コンプライアンス課題整理
創立150周年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・創立150周年記念募金(新園舎建設等) ・新たな募金方法の定着(Web寄付及びクラウドファンディング) 	<ul style="list-style-type: none"> ・累計目標金額 2億円(2026～2030年度) ・オンライン寄付の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度 3300万円 ・寄付案内の用紙配布/郵便局振込のみ

めざす姿



END